令和6年度　江戸川区立鹿本中学校　学校関係者評価報告書（学校経営計画・学校関係者評価シート）

学校教育目標	・自律　（自らを律し、主体的に活躍できる生徒） ・敬愛　（お互いを敬い、協働できる生徒） ・探求　（自ら学びに取り組める生徒）		目指す学校像 目指す生徒像 目指す教師像	・基礎基本の定着を図る学校。社会に通用する規律を重んじる学校。 ・正しいあいさつが、あたりまえに交わされる生徒。他を尊重しながら行動できる生徒。 ・生徒の個性を伸長できる教師。自らの行動に責任をもてる教師。
前年度までの本校の現状	成果	・ICT機器の校内研修を実施し、どの教科の授業でも活用することができた。 ・鹿本学園との交流を行うことができた。 ・朝の欠席連絡など「tetoru」の活用を広げることができた。 ・年間２回のhypaer-QUを実施して学級や学年経営に役立てることができた。	課題	・学力向上に向けた取組を充実させ、家庭学習の習慣化を図る。 ・不登校生徒の校内別室指導の体制づくり等、不登校対応の充実を図る。 ・読書科の探求的な学習の充実を図る。 ・体育着登校の実態を改善し、制服登校を増やしていく。

重点	取組項目	具体的な取組内容	数値目標	達成度		「中間」 自己（学校）評価(A～D)		「中間」 学校関係者評価(A～D)		「年度末」 自己（学校）評価（A～D）		「年度末」 学校関係者評価（A～D）		次年度に向けた改善案
				９月	２月	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	
学力の向上	○学習の基盤となる基礎・基本の確実な習得、家庭学習習慣に対しての学校の組織的な対応による取組の実施・充実	・学校と民間事業者による放課後補習教室の実施	・放課後補習教室への参加率８０％以上											
		・ミライシードの「ドリルパーク」の活用	・ドリルパーク活用者が８０％以上											
	○読書科の更なる充実	・１年時より探究的な学習を計画的に取り組み、３年次で成果物として発表	・３年次の成果物完成８０％以上											
体力の向上	○個に応じた体力向上のための取り組みの実施・充実	・体育授業における補助運動を毎時間実施	・補助運動の実施を１００％											
		・雨天時の昼休みは学年ごとローテーションで体育館を開放	・特別な事由がない限り１００％実施											
共生社会の実現に向けた教育の推進	○ユニバーサルデザインの視点を取り入れた個に応じた指導の実施・充実	・特別支援学級、難聴学級、特別支援教室、不登校巡回、SC、心理士、 SSWとの連携	・毎月1回以上、特別支援委員会を実施											
	○エンカレッジルームの活用促進	・巡回指導以外にも合理的配慮の目的等で使用	・各学期１回以上、巡回指導以外の目的で使用											
	○交流、副籍交流及び共同学習の実施充実	・鹿本学園等との年間指導計画に基づいた交流及び共同学習の実施	・年間３回以上の実施											
不登校・いじめ対応の充実	○不登校別室指導の実施・充実	・不登校別室指導の体制づくりと充実	・２学期からの運営開始 ・利用生徒３名以上											
	○hyper-QUの活用	・hyper-QUテストの生徒の実態把握に基づいた指導の推進	・年に1回校内でhyper-QU研修会を実施											
	○教育相談の強化	・各学期でいじめに関するアンケートを実施するとともに、二者面談等を実施	・生徒８０％以上がアンケートに「教師に相談をよくしている」と回答											
地域社会に開かれた学校の実現	○学校ホームページの充実等	・学校ホームページの更新	・週１回以上更新を行う											
	○学校関係者評価の充実	・学校評議員会の実施 ・生徒、保護者、教員へのアンケート調査の実施	・各学期に1回実施 ・年間１回以上実施											
	○校則などの見直しについての検討	・生徒会役員との意見交換の実施	・各学期に1回以上実施											
特色ある教育の展開	○インクルーシブ教育の推進	・三つの学級（通常学級・特別支援学級・難聴学級）が一緒に行う行事の実施	・各学期に１回実施											
	○授業改善の推進、教員研修の実施	・教員の組織的な育成、研究授業の実施	・研究授業を全学級で年１回以上、全教員の半分以上が実施											
	○働き方改革の推進	・月１回の定時退勤日の設定	・全教職員の月残業時間８０時間未満											